

高原の四季

2026年 第40号 新緑

「令和のお木曳」 きひき

神石高原町立病院 院長 原田 亘

緑風爽やかな季節となりました。
初夏の日差しとなった太陽と山々に生い茂る青葉が生命の躍動を感じさせ夏の訪れが待ち遠しいです。
町立病院も有難いことに新年度から若干名ずつではありますが、新スタッフを迎えることが出来ております。
現スタッフとともに当地の医療を守る中核となるよう引き続き精進してまいりたいと思います。

さて個人的な話となるのですが、先日第六十三回^{じんぐうしきねんせんぐうごようざいほうえい}神宮式年遷宮御用材奉曳「^{きひきぎょうじ}お木曳行事」に特別神領民として参加する幸運を得まして、崇敬会の仲間たちと共に伊勢に赴きました。

第1次の陸曳^{りくえい}きで奉曳車^{ほうえいしゃ}「^{たいち}太一」1号車を全国から参加の特別神領民と地元伊勢の^{ほうえいだん}神領民奉曳団合わせて約800名の曳き手が法被と白装束を纏い、賑々しくも厳かに力を合わせ、三キロの道のりを真夏のなか、外宮北御門まで奉曳いたしました。

伊勢の住民の方々も大勢奉仕に参加されており大変な盛り上がりでした。

日本の^{いやさか}弥栄を祈りつつ、木遣り歌の鼓舞を受けながら眩しい陽射しの中で心地良い汗を流し、一時ではありますが非日常を経験することで心のリフレッシュが出来ました。

交差点のカーブでは少し曳く方向が変わるのですが、問題解決には職員のバクトル(エネルギー量の向きと大きさ)を合わせることが肝要と何かの経営指南書にもあったなあと綱を曳きながら思い出す自分は仕事中毒なのだと思います別の汗をかいた気がします。

今回のお伊勢参りでは多くの気づきをいただきました。式年遷宮が1300年続いているのは伊勢の神々への崇敬の念に支えられているだけでなく、神宮創建の精神を保ち続ける常若の思想や、200年後の建築資材確保を見据えた^{みそまやま}御杣山での森林育成、さらに撤下古材という今風でいうところのエコロジーとりサイクルの考えがしっかりしていることもあるのだと同行の^{ねざ}禰宜さんから教わりました。

これは組織の中では新人の育成や職員教育の重要性、また退職後職員の新たな役割と働き方に通じるもので、病院運営にとってもいろいろと考える良い機会となりました。200年後は私にはとても想像出来ませんが、目前となった医療の2040年問題に対処するため、また医療によるこの地への地域貢献を引き続き果たすべく職員と一緒に「えんや！えんやー！」と、声を出し良い汗を流したいものです。

日々地域の皆様の温かいご声援をいただき有難く励みとなります。

今後ともご理解と変わらぬご支援のほどをよろしくお願いいたします。



新任医師のご紹介



内科 岩田 健吾 医師

2026年4月より神石高原町立病院に赴任いたしました岩田健吾です。

皆さまの健康を支える一助となれるよう、誠実な診療に努めてまいります。

気になることがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。

何卒よろしくお願いいたします。

診療支援医師のご紹介

脳神経外科 小池 司 医師
(寺岡記念病院)



地域貢献に頑張ります。

原田 亘 院長 医療功労賞中国地方表彰を受賞

事務長 赤木 秀次

令和 8 年 1 月 20 日(火) 第 54 回 医療功労賞中国地方表彰式(読売新聞社主催)が広島市で開催され、原田 亘 院長が受賞しました。

原田院長は、平成 7 年から神石高原町立病院の前身である県立神石三和病院に着任し、以来 30 年の長きわたり、地域に密着した地域住民のかかりつけ医として、地域医療の向上に携わってこられました。

平成 18 年院長に就任し、『地域の皆さまに愛され信頼される地域に開かれた病院の構築』を病院理念に掲げ、地域医療の維持・向上を図るため陣頭指揮を執るとともに、町内唯一の入院できる医療施設として、初期救急医療から慢性期医療、在宅医療まで幅広い医療を提供するなど、現在も診療現場の中心的役割を担っておられます。

これからも、原田院長を中心にスタッフ一丸となって、医療を介した地域貢献が図られるよう、地域医療の充実に取り組み、病院理念を实践してまいります。



医療功労賞 ～ 過疎地域や離島など困難な環境下で、地域住民の健康増進・疾病予防・治療業務に献身的に携わっている医療関係者などにスポットをあてて、特に顕著な功績をあげた方を表彰



多くのご意見に感謝・・・。

院内に患者様からの『ご意見箱』を設置しています。様々なご意見・お叱り・励みになる御言葉をいただいています。特に多いのが待ち時間に対するご意見です。待ち時間調査において改善策等を検討・対策し短縮に努めているところです。待ち時間に繋がる事例として、診察当日、血液検査・レントゲン等がある場合は、検査結果が出るまでどうしてもお時間をいただくこととなりますが、直近の検査結果を反映した治療ができる利点などもございます。

どうぞご理解ください。

引き続き、忌憚のないご意見やお褒めの言葉などをいただけると、今後の運営の参考に、また、皆様のご期待の沿えるよう努めてまいりますし、職員の励みにもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度に当たり、皆様に謹んでご挨拶申し上げます。 看護部長 後藤 由香

初夏の息吹を感じる季節になりました。

日頃より当院の医療・介護にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

当院は地域に根ざした医療機関として、高齢の方や慢性期の患者様、人生の最終段階を迎えられる方々が、住み慣れた地域で安心して療養できる環境づくりに努めております。

看護部はその中心として、患者様とご家族の思いに寄り添い、「安心・安全で信頼される看護」を提供する責任を担っています。

現在、地域の高齢化の進行や医療ニーズの多様化に加え、医療従事者の確保が難しい状態が続いています。

このような中であっても、私たちは地域医療を支える役割を果たし続けるために、課題から目を背けることなく、現場の声を大切にしながら一つひとつ取り組んでまいります。

そのために、スタッフ同士が支え合い、チームワークを強化するとともに、多職種と連携した切れ目のない看護の提供に努めてまいります。また看護師一人ひとりが専門性と誇りを持ち、やりがいを感じながら働ける環境を整えることが、地域の皆様へのより良い医療の提供につながると考えております。

これからも、地域の皆様に安心していただける看護を目指し、看護部一同取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





「農作業の季節、足のつりにご注意を」

田植えや畑の作業が続く時期になると、「夜中にふくらはぎがつって目が覚めた」「朝、腰が固まってすぐ伸びない」そんな声をよく聞きます。一晩寝れば戻ることも多く、「この時期はこんなもの」とそのまま畑へ出てしまう方も多いようです。

ただ、同じことが何度も続くときは、診察のときにひと言伝えてみてください。体の様子を見ながら、足のつりに使う漢方(芍薬甘草湯など)が合うこともありますし、「大きな心配はなさそう」と分かるだけでも少し安心です。

病院の受付前には、農作業の合間にできる腰や足のストレッチや、食事のヒントの紙を置いています。来院されたときに、気になるものがあればどうぞお持ち帰り下さい。日頃の体の手入れの参考になればうれしいです。記:滝宮(リハビリ)



～出前講座ご利用ください～

役場や町立病院のスタッフが地域に出向き、地域ぐるみで健康づくりを推進できるよう支援しています
自治振興会や女性会、老人会、サロン、職場や団体などで集まる時にはぜひご利用ください

記:若林(総務)

テーマ	担当
① 高血圧予防について	⑦ ACPについて ～私の心づもり～
② 糖尿病予防について	⑧ フレイル予防 (低栄養を予防しよう)
③ 歯周病予防について	⑨ スポーツ出前講座
④ 高齢者口腔ケア (一般介護予防)	⑩ 楽しく動いて健康長寿
⑤ 認知症の理解と予防	⑪ 防災の視点で考える
⑥ 認知症サポーター養成講座	～災害時、暮らしが変わると体も変わる～
	・神石高原町役場 ・中国労働衛生協会 ・ピースウィンズ・ジャパン



テーマ	こんな方におすすめ	内 容	担 当
①丈夫な身体づくり	健康に興味がある方	リハビリスタッフが丈夫な身体を作るためのお話や、体操指導を行います	町立病院
②くすりの話	くすりについて興味がある方	薬剤師と考える体にやさしい薬の付き合い方～ポリファーマシーとは～	
③食事について何か困っていることはありませんか？	食事全般について興味がある方	普段お食事で気になることがありましたら気軽に相談してみませんか？	



お申込み・お問合せ 神石高原町役場 健康衛生課 ☎0847-89-3366 FAX 0847-85-3541

異動職員・新規採用職員のご紹介

 薬剤科 主任 薬剤師 藤井 4月より神石高原町立病院で勤務しております薬剤師の藤井です。安心してお薬を使っていただけるよう努め、不安や疑問を気軽に相談いただける存在を目指します。よろしくお願いいたします。	 地域連携福祉支援センター 医療相談室 相談員 社会福祉士 高橋 新しい環境で、身の引き締まる思いです。一日でも早く皆様の力になれるよう努力して参りたいと思います。趣味は習い事をいくつか習っていますが、いろんな事ができるようになるのが楽しいので続けられています。	 看護部 外来 看護師 赤木 4月から外来で働いています赤木です。以前14年間勤めていましたが、転勤・退職後縁あって再びお世話になります。病院もシステムも変わり、迷惑をおかけしますが、少しでも貢献できるよう、明るく楽しく頑張ります。	 看護部 外来 看護師 本谷 子供の独立を機にこちらに戻り、当院の地域に密着した暖かい医療に感動し、もう一度現場に立とうと決意しました。外での経験を柔軟に活かし、地域の皆様の健康を支えてまいります。よろしくお願いいたします。	 看護部 病棟 看護補助者 羽場 4/1より看護補助者として仕事をしています。覚えることが多く大変ですが、頑張ります。よろしくお願いいたします。	 栄養科 調理員 井原 初めまして。4/23付き入社したばかりで、緊張しておりますが、安心安全な給食作りを学びながら仕事を覚えて一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。
--	--	---	---	---	---

令和8年度 担当医 配置表

令和8年6月1日より

診療科	開始時間	月	火	水	木	金
内 科 (予約制)	8:30	原 田	阿 嶋	原 田	原 田	阿 嶋
		岩 田	服 部	岩 田	服 部	服 部
			赤 木		赤 木	
外 科	8:30 9:30※	広島大学病院 (毎週)	内 藤※ (毎週)内藤クリニック			広島大学病院 (毎週)
総合外来※	8:30	赤 木 内科(毎週)	福山市民病院 外科(第1・3週)	阿 嶋 内科(第1・3週)	岩 田 内科(第1・3週)	福山市民病院 内科(第1・3週)
			岩 田 内科(第2・4・5週)	松 本 広島大学 内科(第2・4週)	阿 嶋 内科(第2・4・5週)	漆 谷 倉敷中央病院 内科(第2・4週)
				服 部 内科(第5週)		岩 田 内科(第5週)
		※初診の方、しばらく受診の期間が空いてしまった方は総合外来で対応いたします。				
眼 科	9:30				広島大学病院 (毎週)	
整形外科	8:30					大 木 南海診療所 (第1・3・5週)
	13:30					来 嶋 世羅中央病院 (第2・4週)
脳神経外科 (予約制)	10:00			小 池 寺岡記念病院 (第1週)		
リウマチ膠原病科 (予約制 紹介のみ)	9:30		広島大学病院 (第2・4週)			
もの忘れ外来 (予約制)	13:00	服 部 (毎週)				

【受付時間】8:00～11:30 (整形外科 第2・4 金曜日は13:00～16:00)(予約の場合は予約時間までに)
マイナ保険証、公費負担医療保険証等は1ヶ月に1回確認させていただきます。月初めのご来院の際は、保険証を必ずお持ちください。(※保険証等の提示がない場合は、保険診療ができない場合がありますので、ご注意ください。)

【休 診 日】土日祝日 年末年始12月31日～1月3日まで
【救急患者】平日の時間外ならびに休診日でも救急患者の方は診療を行っています。
【発熱外来】受診に来られる前に病院代表電話 0847-85-2711 へご連絡ください。担当スタッフが対応いたします。
【休日・夜間の受診について】

- ・病院正面から向かって左手の「休日夜間入口」から入っていただき、『休日夜間受付』で受付を行ってください。
 - ・22:00～7:00の間は施錠しておりますのでインターフォンでお知らせ下さい。
- ※休日夜間入口
平日:20:00～22:00／休日: 7:00～22:00



入館者へご協力をお願い

- 入館について
- ・必ずマスクの着用をお願いします。
 - ・手指消毒にご協力ください。
(入口に設置しています)
 - ・検温にご協力ください。
正面入口でカメラによる検温を行っています。
測定結果の紙が出ますので、お取りになり受付までお持ちください。



- 面会について
- ご利用の方は1階 医事課の受付窓口で受け付け手続きを行ってから面会してください。
- 面 会 者: 家族・親族(中学生以上に限る)
面会時間: 13:00～17:00
デイルーム 1回 2名 15分程度
病室(大部屋) 1回 1名 10分程度
(個室の場合は1回15分程度)
土日・祝日も面会できます。



病院理念 地域の皆様に愛され信頼される地域に開かれた病院の構築
基本方針

1. 良質で安全な医療を提供します
2. 保健・医療・福祉の連携を図り、地域の特性に合った切れのない医療を提供します
3. 患者さまの人格を尊重し、患者さま主体の医療を提供します

発行: 神石高原町立病院 院長 原田 亘
〒720-1522
広島県神石郡神石高原町小畠 1709-3
TEL: 0847-85-2711(代表)
FAX: 0847-85-2754(代表)



訂正: 「高原の四季」2024 年秋号掲載の栄養コラム欄の「ムチン」という成分について、里芋は含まれておりませんでした。
また、植物全般にムチンは存在していません。誤った記述がございましたので、ここに訂正いたします。

【参考】京大病院広報誌公益「社団法人日本食品化学工業学会『食品工業辞典』(日本食品工業学会編、昭和54年・第1版発行)における用語解説の訂正」